

2018年度夏季手当交渉申し入れ 会社の考え

本部は、6月7日、夏季手当交渉・会社の考えを行いました。以下、報告します。

**会社・前年度（1,6ヶ月）に対して、些少ではあるが、
積み上げについて慎重に見極めたい**
組合・到底納得できない。再考を求める

まず、収入動向についてだが、4月は、対計画、コンテナが+167百万円、車扱は△13百万円、合計で+154百万円と順調な滑り出しとなった。5月は、コンテナ+77百万円、車扱+13百万円、合計+91百万円と計画は上回ったが、中旬以降からは荷動きが鈍くなり、計画を下回る日も多くなった。6月に入り昨日まで、コンテナ+270百万円、車扱△8百万円、合計+262百万円となっており、現時点で対計画+2,6億円という状況にある。

経費については、燃料費や線路使用料の単価高騰が続いており、あわせてペアに伴う人件費、車両修繕の見直し等で、相当額の上積みが必要となる見込みである。これまでの交渉で、要求や主張を真摯に受けとめ、社内で議論を進めてきた。会社として、「28、29年度と2年連続で鉄道事業を黒字になったことに対して感謝申し上げる」「今年度は経営自立計画の最終年度であり、鉄道事業の黒字と連結決算で100億円を計上することが必達である」「職場の要員需給については、今後の見通しと対策を立て、迅速に実施する」ことを申しあげる。

以上を踏まえ、現時点での会社の考えは、「前年度に対して、些少ではあるが、積み上げについて慎重に見極めたい」とする。

組合・「前年度に対して」とあるが、昨年度の夏季手当1,6ヶ月のことか。

会社・そうである。

組合・前年度と同額、下がるということもありうるのか。

会社・絶対とは言えないが、昨年度の決算、足元の状況をみれば、下回る要素はない。

しかしながら、経費増や不安定要素もあり、些少の積み上げという考えである。

組合・0,1ヶ月の経費は。

会社・約2億である。

組合・29年度決算では、連結100億以上を計上し、現時点では対計画+2,6億という数字も出ている。経費の上積みは理解するが、それを差し引いても、私たちの要求には十分に答えられる。本日の会社の考えには到底納得できず、再考を求める。

会社・貴組合の主張は承った。経営陣に繋げておく。

以上